

◎弥生が丘地域人権教育協議会◎

平成 25 年度報告

当協議会は三田市同和教育研究協議会（三同教）の下部組織として、いわれなき偏見や、いじめ、セクハラ、パワハラ等、人間社会にひそむありとあらゆる「差別」をなくし、明るい社会の実現を目指して活動を続けています。具体的な行動として「あいさつ運動」に取り組んでおります。

■ 盛大に人権標語・ポスターの表彰式（平成 26 年 2 月 15 日）

昨夏、募集した人権標語で入選された弥生小 11 人、富士中 5 人、一般 10 人、ポスターで入選の弥生小 2 人に、同協議会の福井裕会長（弥生が丘自治会長）から表彰状が手渡されました。今回初めてポスターの入選作品をポケットティッシュに挟みました。入選作と入選者（敬称略）は次の通りです。

なお、新年度からは三田市の募集事業と一体化し、作品全体のレベルアップを図ります。



【標語・弥生小】

- ・「あいさつは みんなをうれしくすることば」（1年、吉國寛純）
- ・「あいさつで いつでもニコニコ 弥生っ子」（2年、北村乃愛）
- ・「あいさつが かえってきたら うれしいね」（3年、西中村涼香）
- ・「言ってみよう 笑顔であいさつ 気持ちいい」（3年、長谷川ほのか）
- ・「あいさつで みんななかよし やよいっこ」（4年、永田怜斗）
- ・「あいさつで みんなの絆 深めよう」（5年、入船涼太）
- ・「あいさつで 手と手をつなぐ ぼくの町」（6年、岸本拓弥）
- ・「ありがとう そんな言葉で ひろがる輪」（6年、富奥璃子）
- ・「弥生っ子 あいさつすれば 笑顔咲く」（6年、安陪拓実）
- ・「あいさつは 心を通わす 第一歩」（6年、角卓実）
- ・「いじめはね 自分も人も きずつける」（6年、村上怜美）

【ポスター・弥生小】

- ・(4年、辰己凜太)
- ・(6年、櫻井康暉)

【標語・富士中】

- ・「考えて 後悔しない? その行動」(1年、阪井日花里)
- ・「見かけたら 絶対あいさつ 笑顔でね」(1年、中井晴華)
- ・「辛くても 一人じゃないよ 僕がいる」(1年、米澤徹心)
- ・「あいさつを かわすと心は 晴れ模様」(3年、片岡菜緒)
- ・「あいさつで 笑顔あふれる まちになる」(3年、永田真由菜)

【標語・一般】

- ・「咲かせよう 地域の未来 笑顔から」(2丁目、森島周子)
- ・「ひとことの あいさつこそが 近所の輪」(2丁目、早稲万里)
- ・「あいさつが 朝一番の 贈り物」(4丁目、田淵敏雄)
- ・「あいさつは 笑顔の種の プレゼント」(3丁目、北浦弘也)
- ・「みつけよう 一人一人が 出来ること」(3丁目、北浦朋子)
- ・「分かり合う 心がみんなを つないでる」(3丁目、尾崎典子)
- ・「きっとある あなたにできる 手助けが」(4丁目、池添環)
- ・「思いやる 笑顔あふれる 街づくり」(4丁目、菅裕彦)
- ・「思いやり 笑顔で見守る 登下校」(5丁目、山田田江子)
- ・「あいさつは 心の扉 開く鍵」(5丁目、大嶋文夫)

■ サイバー犯罪にご注意！(平成26年1月17日)

弥生小と同協議会の共催で講演会「サイバー犯罪の現状と対策」を開催。講師は兵庫県サイバー犯罪防犯センターの嶋田亜紀さん。スマホによるさまざまな誘惑が子供たちにまで及んでいる実態が報告されました。

■ 堺市の舳松(へのまつ)人権歴史館を見学(平成25年12月7日)

32人が参加。同館ガイドさんが自らの生き立ちと差別の実態を披歴、参加者たちは真剣な表情で聞き入りました。この後、高さでは日本一のあべのハルカスを散策しました。



「差別の実態を学んだ参加者たち。舳松人権歴史館で」